

○第248回 遺伝子組換え食品等専門調査会（非公開）

日時：令和6年4月25日（木） 14：00～17：07

議事概要：

（1）*Streptomyces mobaraensis* TTG-1 株を利用して生産されたトランスグルタミナーゼ  
・審議の結果、確認事項について回答を求め、全専門委員の了解を得ることができれば、評価書（案）を食品安全委員会に報告することとなった。

\* タンパク質又はペプチド中のグルタミン残基の $\gamma$ -カルボキシアミド基をアシル供与体とし、アミン化合物の第1級アミノ基又はタンパク質若しくはペプチド中のリジン残基の $\epsilon$ -アミノ基をアシル受容体とするアシル転移反応を触媒する酵素です。

（2）PRO-No.1 株を利用して生産されたL-プロリン

・審議の結果、申請書を一部修正の上、評価書（案）食品安全委員会へ報告することとなった。

\* 非タンパク質性のアミノ酸であり、調味料や、栄養強化を目的とした強化剤の用途で用いられます。